団体名:シャンティ国際ボランティア会

国名:カンボジア王国 日付:2025年6月30日

報告書名:令和4年度 完了報告書(日本 NGO 連携無償資金協力)

令和 4 年度 日本 NGO 連携無償資金協力 完了報告書

事業名	カンボジア国僻地小学校のための補習推進事業
	The Project to Promote Remedial Study for Remote Primary School in Cambodia
事業対象地	カンボジア王国ポーサット州ヴィール・ヴェン郡
事業期間	2023年2月27日~2024年2月26日
公的資金種別	日本 NGO 連携無償資金協力
総支出額	242,411.41 米ドル
プロジェクト	事業対象校において、児童の学習損失に対応するためのデジタル教材や図書の活用
目標およびそ	による学習支援体制が強化されていることを目標として事業を実施した。対象校2校
の達成度	に建設した学習施設にてデジタル教材等が配備された自習室や図書室を活用した補
	習が開始され、教員の能力、児童の学習意欲、保護者の学習支援なども改善し、これ
	らに関連した 5 つ全ての指標が達成されたことから、学習支援体制が強化されたと
	言える。
実施内容概要	(1) 学習施設の開設活動
	デジタル教材が活用できる自習室および図書室を備えた学習施設を建設し、調査・選
	定を経てデジタル機材、図書を配備し、家具などの資機材も設置した。デジタル教材
	については、クメール語、算数の指導映像や、コロナ禍で開発された補習学習の教員
	ガイドラインや学年毎の宿題教材を入手し、オフラインでも活用できるよう各対象
	校にデータを提供した。
	(2) 補習および自習の推進活動
	 対象校 2 校において、補習の実践に向け、デジタル教材活用合同研修会(9 月)、自
	習室運営研修(10月)、図書室の運営管理および読書推進研修(11月)を実施した。
	10月以降各校にてスケジュールに基づいた補習が開始され、12月に図書室も開室し
	た。また 2024 年 1 月~2 月には、保護者向けの読書推進活動を全 6 回実施し、学習
	施設について周知するとともに、家庭での読み聞かせなどを促すリーフレットを配
	布した。

団体名:シャンティ国際ボランティア会

国名:カンボジア王国 日付:2025年6月30日

報告書名:令和4年度 完了報告書(日本 NGO 連携無償資金協力)

成果

- (1) 補習および自習が実施できる環境が整備される
- ① 自習室に必要な資機材が確保され、計画通りに配備された結果、補習が実施される:

自習室への資機材配備(パソコン、テレビ、スピーカー、黒板、教卓、児童用机・椅子など)を計画に沿って8月までに完了した。また教員5名へのインタビューで、自習室や機材の使いやすさ、保護者や児童についての評価を判定したところ、児童が補習できる環境が整ったと言える。

② 図書室に必要な資機材が確保され、計画通りに配備される:

図書室の家具や資機材の配備を10月までに完了した。また教員5名へのインタビューで、図書質の利用のしやすさ、管理のしやすさ等を確認し、全教員が「とても良い」または「良い」と回答しており、児童や教員が適切に図書室を利用できていることが確認できた。

- (2) 補習実施および自習促進に関する指導・運営能力が改善される
- ①研修の結果、教員の8割がデジタル教材を活用した補習の実践、図書を活用した指導方法および児童に対する自習促進ができるようになる:

活動 2-1 のデジタル教材研修、活動 2-2 の自習室運営研修、活動 2-3 の図書室の運営管理および読書推進研修の後に、それぞれ理解度測定調査を実施した。いずれの研修の理解度測定平均値も 5 段階評価の上から 2 番目の「よく理解している」以上となっており、本指標が達成していることが確認できる。

②補習実施6か月後時点で、児童の学習意欲が向上している:

「児童が時間通りに授業に来る」「児童が授業に集中している」等8項目の児童の学習意欲について、教員に対し、事業開始時にベースライン調査、事業終了時にエンドライン調査を実施した。事業の前後を比較し、すべての項目で結果が向上したため、本指標は達成されたと言える。

③保護者の子どもへの学習補助および意識が向上する:

事業終了後2カ月のタイミングで、2校の対象校に通学する児童の保護者に対し「読み聞かせの経験の有無」「子どもの宿題の把握度合い」等5項目のアンケート調査を行った。項目について、経験がある/把握している等と回答する保護者が30%を超えることを当初の目標としていたが、両校ともそれを上回る保護者が児童の学習補助や意識が向上する結果となり、指標は達成した。